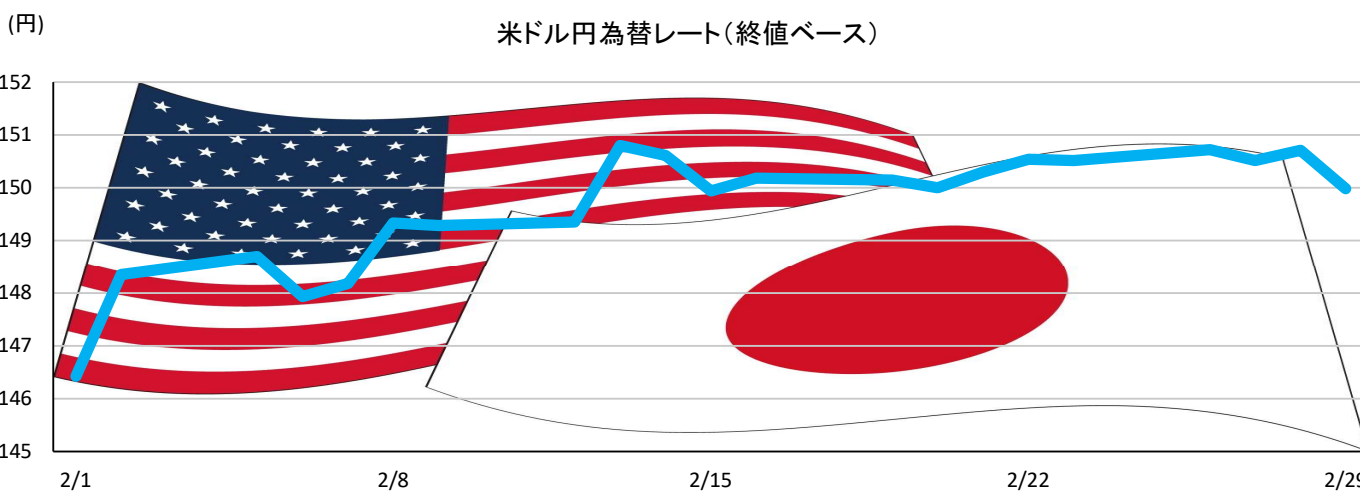


MONTHLY REPORT

先月の振り返り：2月のドル円相場は145円後半～150円後半で推移。月初は良好な米雇用統計の結果、を受けドル高で始まった。さらに複数の日銀関係者から、マイナス金利解除後も緩和的な政策を継続する、との発言が伝わり円安ドル高が進行する中、米消費者物価指数が市場予想を上回ったことが後押しとなり、ドル円は150円88銭まで到達。ただ、神田財務官や鈴木財務相などから円安けん制発言が聞かれ一時150円を割り込んだものの、その後は150円を中心とした持合い相場となった。月末に日銀の高田審議委員が、金融緩和政策からの出口へ向けた検討が必要、と述べたことが伝わると、早期マイナス金利解除を警戒した動きが広がったことや各米経済指標が市場予想を下回ったことも重なり、149円21銭まで円高ドル安が進んだ。



MARKET REVIEW

日銀金利：マイナス金利政策の解除の大きな判断材料として注目される春闘賃上げ動向。今年の春闘を巡る情勢を見ると経営者から大幅賃上げに前向きな発言も聞こえている。実際にマイナス金利解除に踏み切るとなると、春闘の賃上げ結果や物価動向、景気の状態などを考慮した上で行われるため、3月よりも4月の方が実現の可能性は高いだろう。仮に据え置きとなった場合でも、マイナス金利を解除する時期について言及する可能性もあり、会合後に行われる植田総裁の記者会見には特に注目したいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
3 / 19 (火)	** : **	J P	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
3 / 21 (木)	3 : 00	U S	米連邦公開市場委員会 (F O M C)	☆☆☆☆☆
3 / 21 (木)	21 : 00	G B	英中銀政策金利	☆☆☆☆
3 / 28 (木)	21 : 30	U S	米G D P確定値	☆☆☆☆
4 / 5 (金)	21 : 30	U S	米雇用統計	☆☆☆☆☆
4 / 10 (水)	21 : 30	U S	消費者物価指数 (C P I)	☆☆☆☆
4 / 11 (木)	21 : 15	E U	欧州中央銀行 (E C B) 政策金利	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。